

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	ドウトク イチ	(フリガナ)	タカハシ ノリオ
授業科目名	道徳 I	担当教員名	高橋 憲夫
英文授業科目名	Morality I		
基準年次(開講期)	1年(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	木 4限/浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	日本人の倫理・道徳的本性を知ろう。道徳心を向上させ、より良い人間になろう。		
授業概要・目的	将来、全人格的に成長するために、これまで日本人が培ってきた道徳心、倫理観を学ぶこと。そのために古代まで遡って、日本人の倫理、道徳のルーツを訪ね、理解を深めてほしい。		
到達度評価の評価項目	授業時間内の小テスト、期末試験の成績がすべて。但し、評価は、講義内容の記憶ではなく、そうして得た知識を基に、日本人の倫理観、道徳心について如何に自らの考えを深めたかという点が重視される。		
授 業 計 画			
第 1 回	ガイダンス：道徳とは何か。捉え方、考え方		
第 2 回	道徳的・倫理的感性、意識の検討		
第 3 回	1. 古代日本人の道徳心、倫理観		
第 4 回	2. 古代宗教と道徳心		
第 5 回	3. 仏教と日本人		
第 6 回	4. 儒教の浸透		
第 7 回	5. 中世・王朝文学に見られる道徳心、倫理観		
第 8 回	6. 近世・武家文化と儒教倫理		
第 9 回	7. 近世・鎌倉新興仏教		
第 10 回	8. 近世の死生観		
第 11 回	9. 江戸期・幕藩体制のもとでの倫理観		
第 12 回	10. 幕末の意識の変容		
第 13 回	11. 日本の近代化と西欧思想		
第 14 回	12. 第二次世界大戦前後：教育勅語から教育基本法へ		
第 15 回	まとめ：日本人の培ってきた道徳心、倫理観を確認する。		
教科書・参考書等	教科書は指定しない。参考書、資料は講義中に、適宜、紹介する。		
授業で使用する機器等	P.C.、O.H.P.など		
予習・復習へのアドバイス	予習よりも復習にウエイトを置いて勉強を進めること。		
履修上の注意・受講条件等	誰でも履修はできます。但し、本当に勉強しないと単位は取得できません。		
成績評価の基準等	期末テストの成績 80%、授業中の小テストの成績 20%。		
メッセージ	日本人のメンタリティ、とりわけ道徳心、倫理観を、より深く理解したい学生のみ受講すること。		
オフィスアワー	講義担当日の最初と最後の担当科目の前後一時間は、研究室に居ます。但し、5限は例外で、退室します。		
その他			